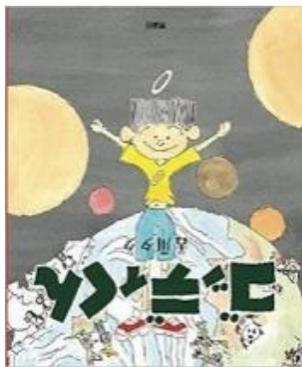


学校の帰り道、見たこと
のないきれいな青い羽を見
つけました。羽の持ち主を
さがしに出発！
木のえだや、ひくいやぶ
の中、池や川など、鳥の目線
になってよく見てみよう。
鳥がかかっているよ。



E 『青い羽みつけた！』
さがしてみよう身近な鳥たち』
Novvo Inc. / 著 高櫻一望 / 作と絵
宇田英男 / 文 日本野鳥の会 / 監修
パインインターナショナル

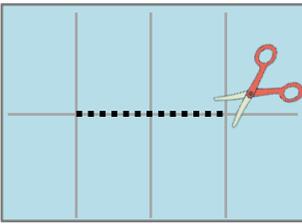
かみさまの子どももコッナイ
くんは、いたずらっ子。さん
ぽに出かけては、星をもって
かえります。お気に入りの星
は、地球です。
コッナイくんは、おもちゃ
たいに地球をベツタコにし
たり、しかくしたり。地球
にすむ人は、そのたびにたい
へんです。



K913 『コッナイくん』
古川タケ / 作 理論社

紙を8つにおいて、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、き
りこみをいれて、くみだてれば、本の
かたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館
富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
としょかんのホームページもみてね！



わ く わ く
本 だ な



2021年
3月号

1 2 3 年

E 『くらやみきんしの国』
エミリー・ハワース＝
ブース / さく
おおつかのりこ / やく
あかね書房



K913 『はねるのだいすき』



神沢利子 / 文
長新太 / 絵
絵本塾出版

あるところに、くらやみがこ
わい王さまがいました。王さま
は、くらやみをきんしにします。
そして、大きな人工のたいよう
を作って、夜が来ないようにし
ました。
ところが、みんなねむれなく
なり、こまってしまいます。

はるのほら 春の野原。うさぎのピコは、
とんぼがえりでくるくるまわっ
ていました。すると、ひるねを
じゃまされたきつねのコンが、
おこって言いました。「とんぼが
えりは、きつねの発明だから、
うさぎがまねしちゃいかん！」

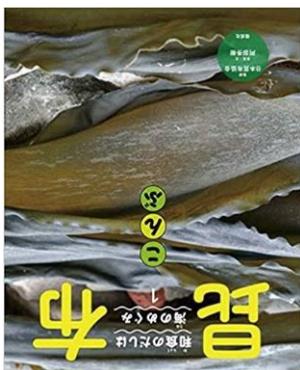
おにぎりにまぶしたり、さしみをはさんだり、富山の食卓にみかせないコソコソ。コソコソは、北の冷たい海で育つとも長い海藻です。漁師さんが海から採ってきたコソコソを海岸ですと、太陽の光をうけてコソコソはおいしくなります。

北海道で採れたコソコソがお店にとどくまでの流れや、全国のコソコソ料理がしゅかうかいさ

れています。

『和食のだしは海めぐみ』
昆布 1
阿部秀樹／写真・文
日本昆布協会／監修 借成社

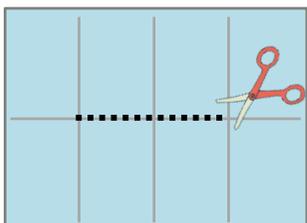
K667



フロリーは、生まれたばかりの妖精です。春の夜に、じまんのつばさをコウモリにかじられ、巨人の庭に落ちて気絶してしまいました。目をさますと、ドキドキするほど美しい屋間の世界が広がっています。フロリーは、屋の妖精になることに決めました。

『夜の妖精フロリー』
ロー・エイミー・シュリッツ／作
日当陽子／訳 さとうゆうすけ／絵
学研プラス

K933



紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！



2021年
3月号



K913 『泣き神さまサワメ』

横山充男／作 よこやまようへい／画
文研出版

泣きむしのそうたは、強くなりたいくて神社にお願いに行きました。神社にはサワメというへんてこりんな神さまがいて、泣く練習をしていました。

サワメは、「あしたから、わしに泣き方を教えるのじゃ。」と言って、そうたにとりついてしまいました。そうたが泣くたびに、サワメが話しかけてきます。